



学校だより

玉一っ子通信



ゲストティーチャー (専門家) による授業

今月はゲストティーチャーをお迎えしての授業を多く実践しました。いずれもその道のプロですので、話の内容や説明、実技指導には説得力があります。

社会の様々な変化から、学校に求められる内容は年々増え続けているのが現状です。「読み書き・そろばん」は今は昔、現在、学校の教育活動は教科も含め多岐に渡ります。当然内容も複雑なものが多くなりますし、しかも、日に日に変化するので、本校では、専門的な知識やノウハウを持っている、ゲストティーチャーを交えての授業を積極的に取り入れています。

子どもたちも興味津々です。今回は12月に行った4つの取り組みを紹介します。

☆12/3「薬物乱用防止教室」(学級活動)6年

県中保健福祉事務所県中保健所 佐藤 光・安達まどか 様

薬物が体に与える悪影響、依存症になった場合の命を脅かす危険性などについて、事例や写真を用いて分かりやすく説明してくださいました。薬物がテレビの中や遠い大都会の話と高をくくっていると大変なことになることを、しっかり学んだ子どもたちです。

喫煙の恐ろしさについてもふれていただきました。



☆12/10「とびなわを使った、巧みな運動」(体育) 4・5年

福島大学TCスタッフ JAAF公認コーチ 菊田明博 様

これまで多くの学校でコーディネーショントレーニングなど、体を動かす楽しさを指導して来ている菊田コーチと、とびなわ(短縄)を使った様々な運動を楽しみました。寒い体育館でも、気がつけば全員が汗だく。無理しなくとも、自分にできることから少しずつ楽しみながら続けることが大切ですね。



☆12/17「正しい野菜の採り方」(学級活動)1年

玉川村西部調理場栄養技師 (本校職員) 饗場 由希 様

発達段階もあり、この時期の低学年の子どもたちは特に、濃い緑の野菜を嫌う傾向があります。好きな野菜は好んで食べても、苦手な野菜は口にしない姿は、給食の時間にも時々見られます。そんな子どもたちが、野菜の種類分けや色分けなどの活動を通して、野菜をバランスよく採ることの大切さについて楽しく学びました。

食べものを粗末にしないことについて学ぶよい機会ともなりました。



☆12/18「自分たちの町のよいところを発表しよう」(外国語)6年

玉川村地域興し協力隊 (本校ALT) ワズワーズ優華 様

本年度から正式に教科として学習を進めている外国語。授業は担任が主となって進めますが、発音や細やかな表現は専門家の出番。授業は、福島県や玉川村の特徴や食べ物をパンフレットにしたものをグループで発表し合う内容です。しかし、小学生ですので、言葉に詰まることもあります。そこで、専門家、ワズワーズ先生の出番。今日は発表に対しての相づちの打ち方も勉強しました。Wow!



今後も多くの方々から協力をいただきながら、子どもたちが自分から取り組める、魅力的な授業を創造していきます。合い言葉は「チーム玉一」です。地域の方々のご協力にも感謝します。

子どもたちの詳しい様子はホームページでもご覧いただけます。